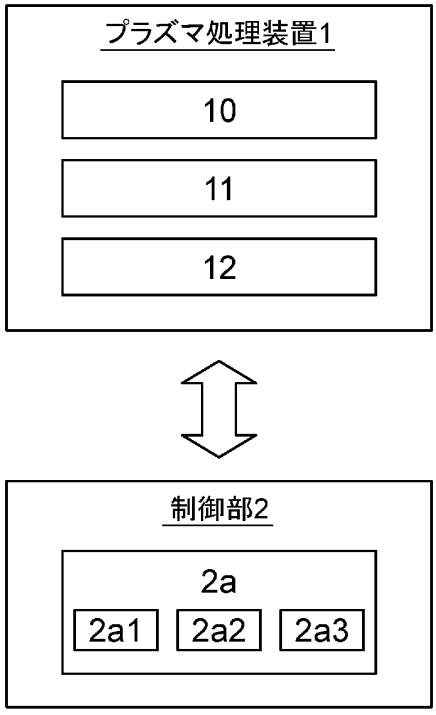
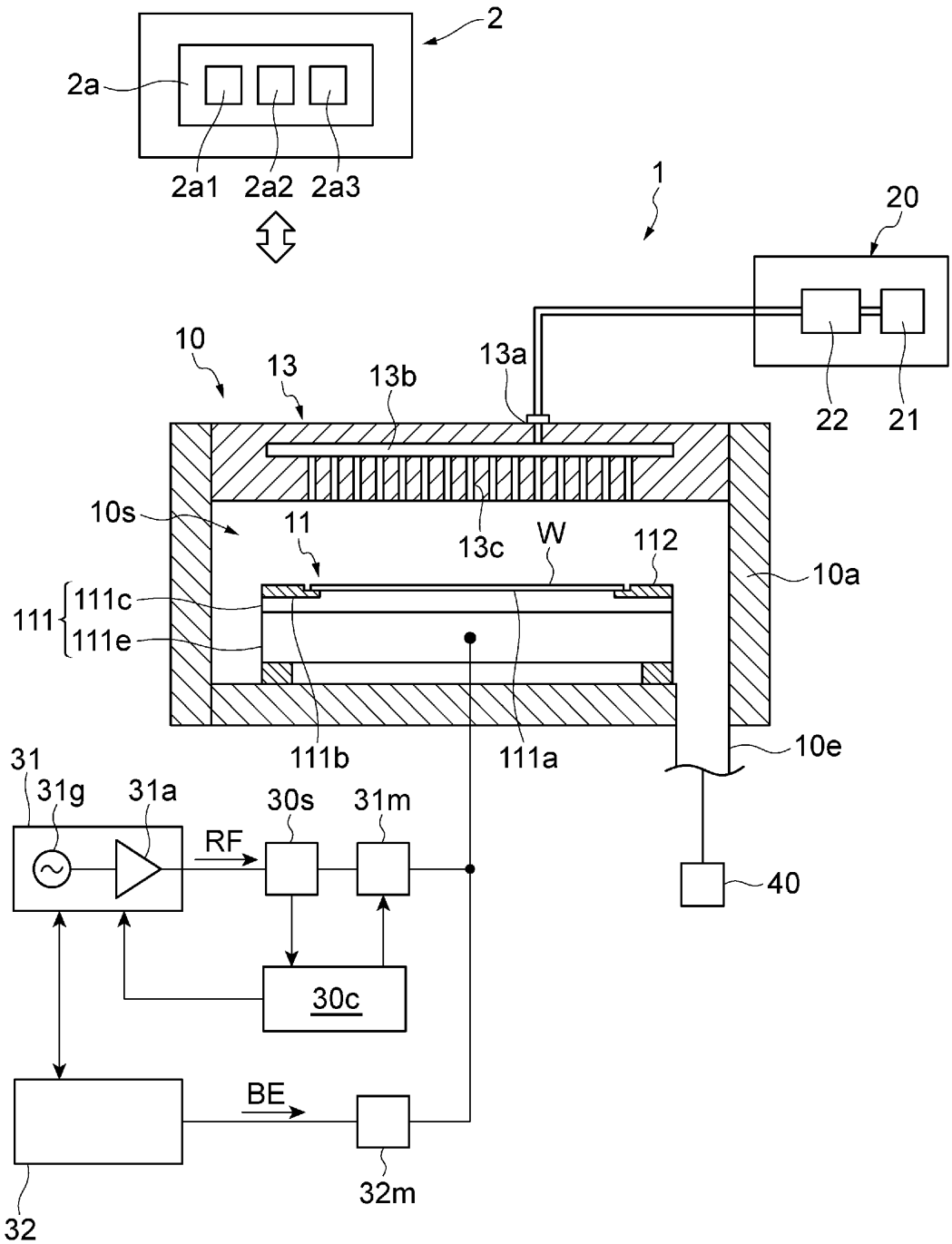
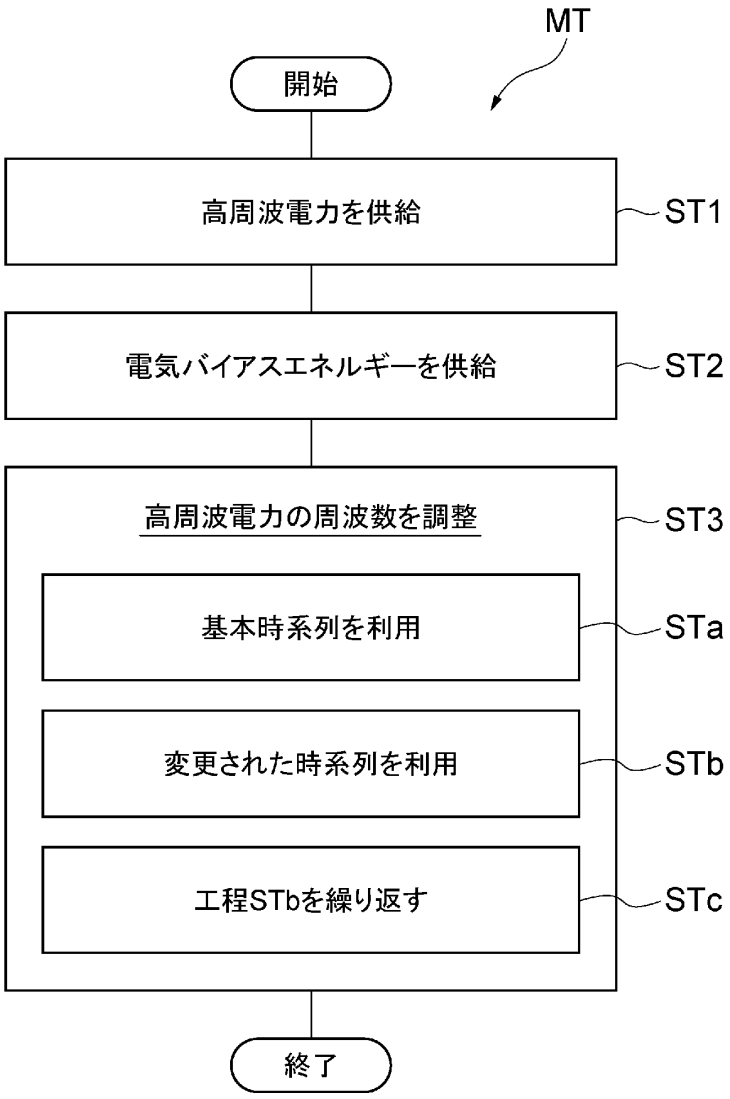
[図1]



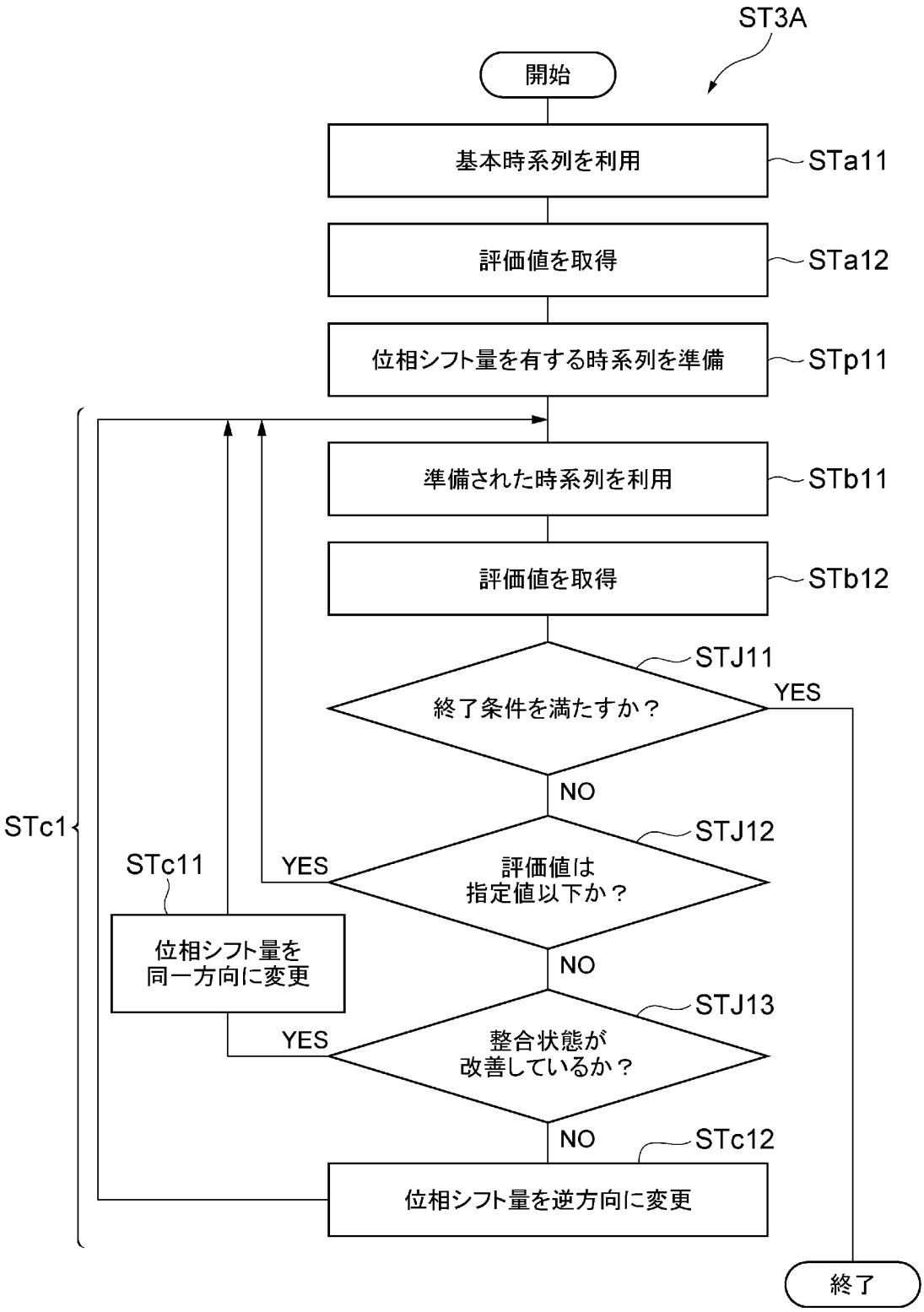
[図2]


2
2a
2a1
2a2
2a3
1
20
22
21
10
13
13b
13a
10s
11
13c
W
112
10a
111
111c
111e
111b
111a
10e
31
31g
31a
30s
31m
RF
40
30c
BE
32m
32

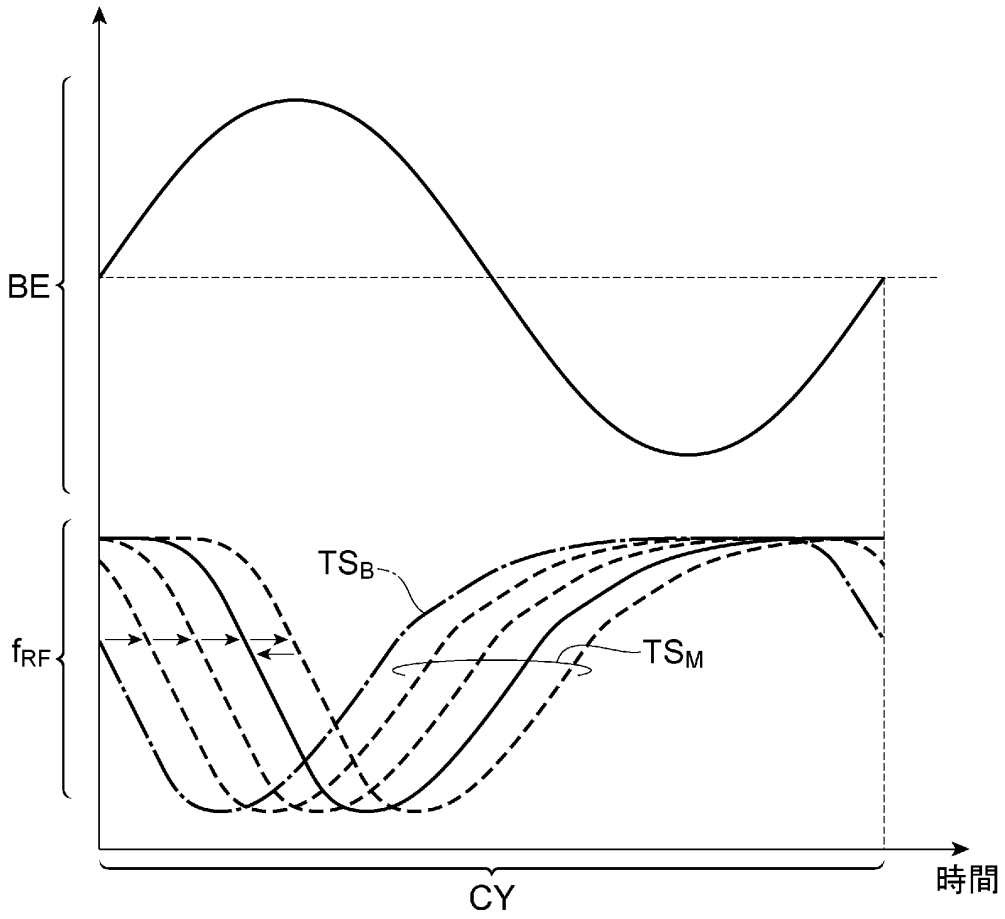
[図3]


MT
開始
高周波電力を供給
ST1
電気バイアスエネルギーを供給
ST2
高周波電力の周波数を調整
ST3
基本時系列を利用
STa
変更された時系列を利用
STb
工程STbを繰り返す
STc
終了

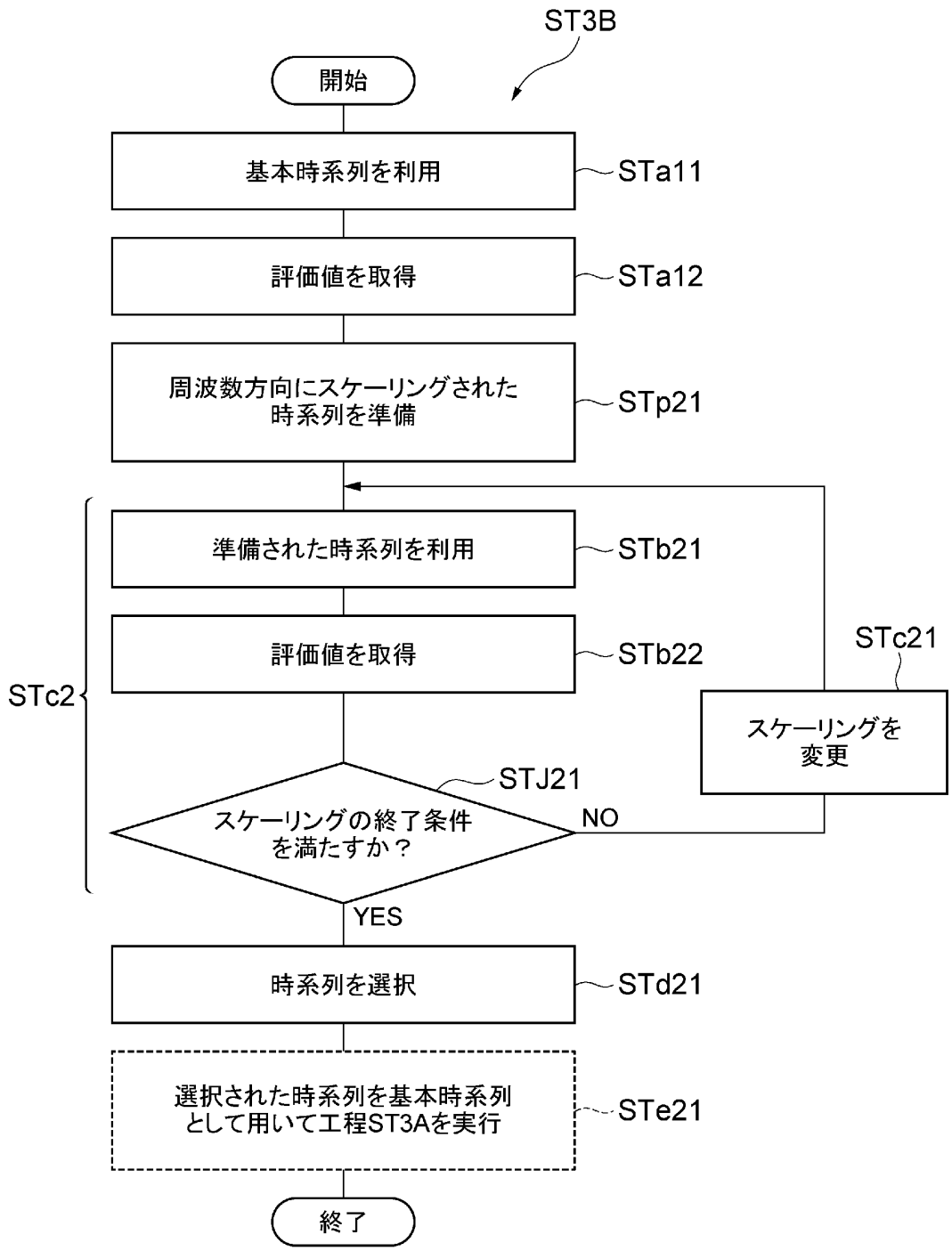
[図4]


ST3A
開始
基本時系列を利用
STa11
評価値を取得
STa12
位相シフト量を有する時系列を準備
STp11
準備された時系列を利用
STb11
評価値を取得
STb12
STJ11
終了条件を満たすか？
YES
NO
STc1
STJ12
STc11
YES
評価値は
指定値以下か？
位相シフト量を
同一方向に変更
NO
STJ13
YES
整合状態が
改善しているか？
NO
STc12
位相シフト量を逆方向に変更
終了

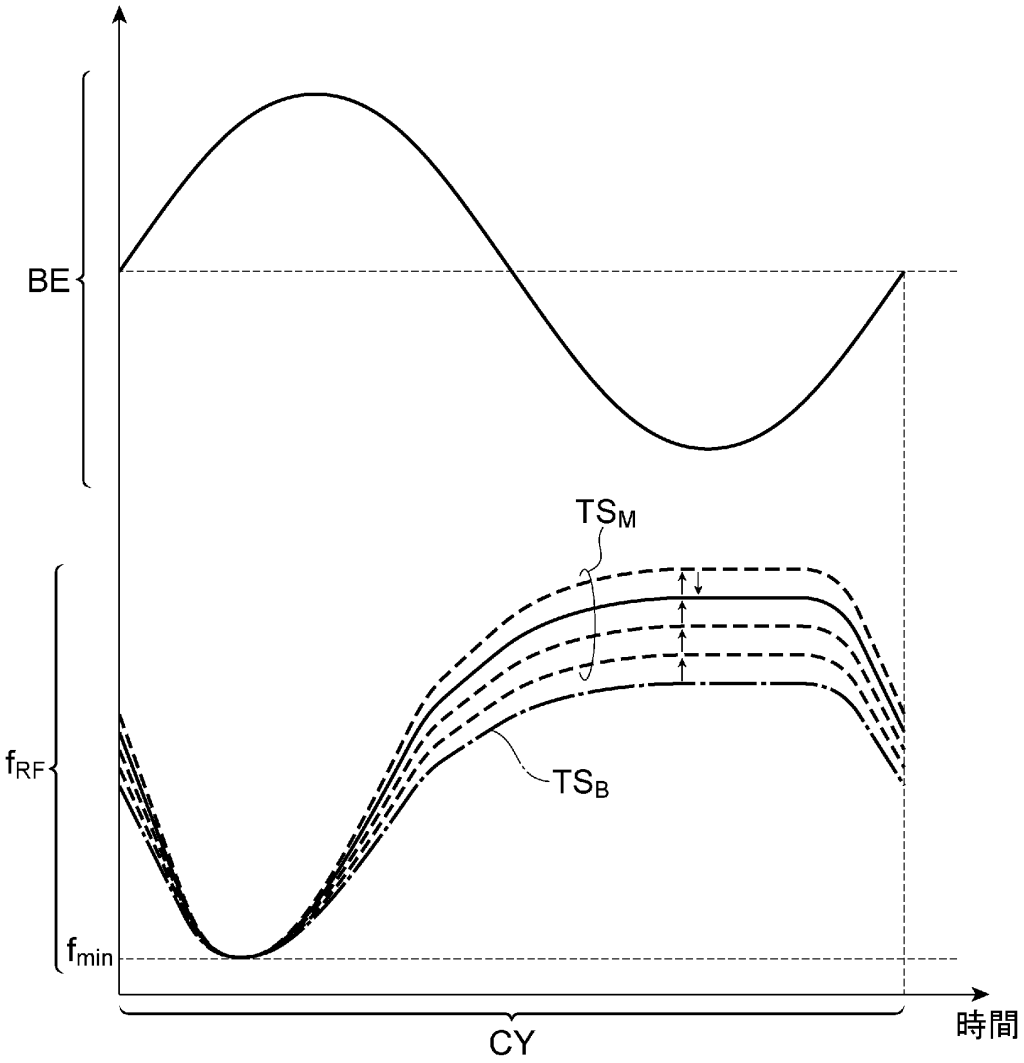
[図5]



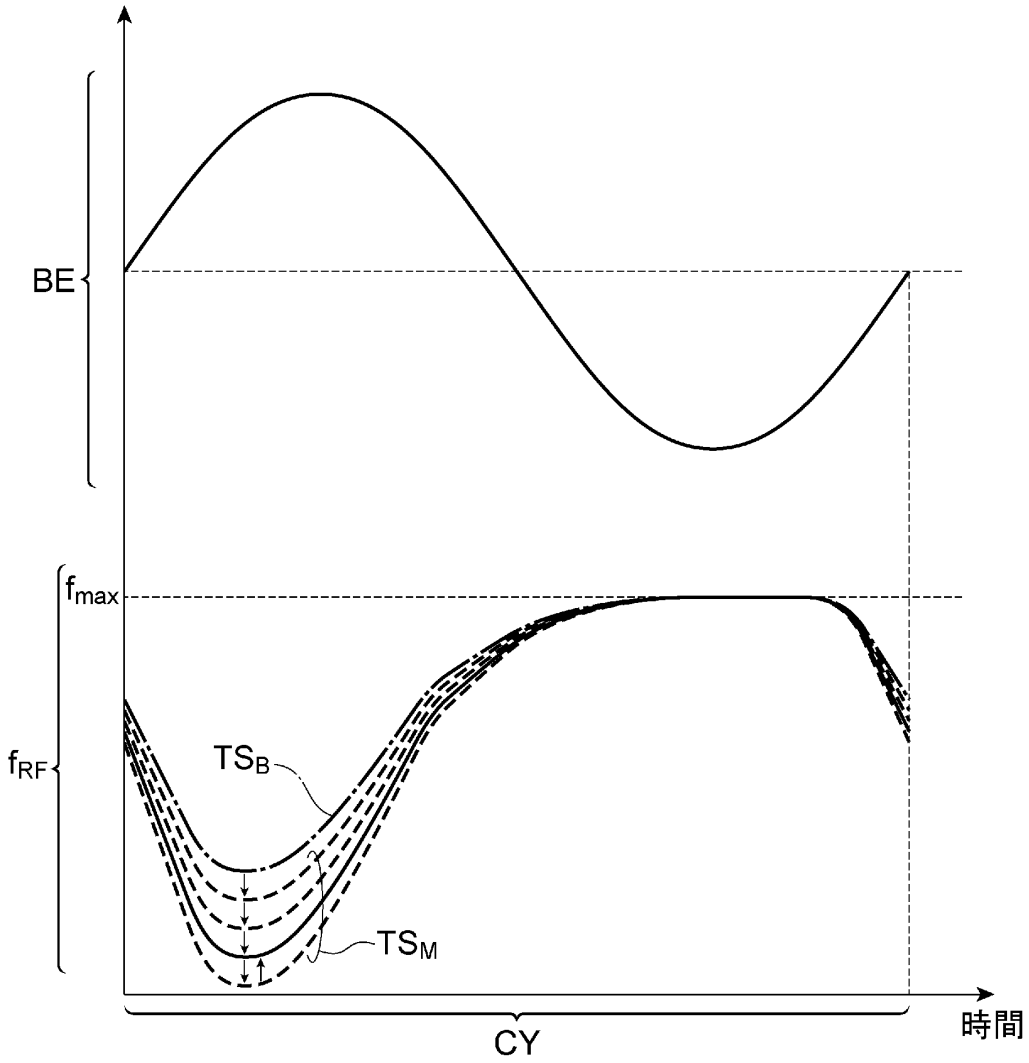
[図6]


ST3B
開始
基本時系列を利用
STa11
評価値を取得
STa12
周波数方向にスケーリングされた
時系列を準備
STp21
準備された時系列を利用
STb21
評価値を取得
STb22
STc2
STc21
スケーリングを
変更
STJ21
スケーリングの終了条件
を満たすか？
NO
YES
時系列を選択
STd21
選択された時系列を基本時系列
として用いて工程ST3Aを実行
STe21
終了

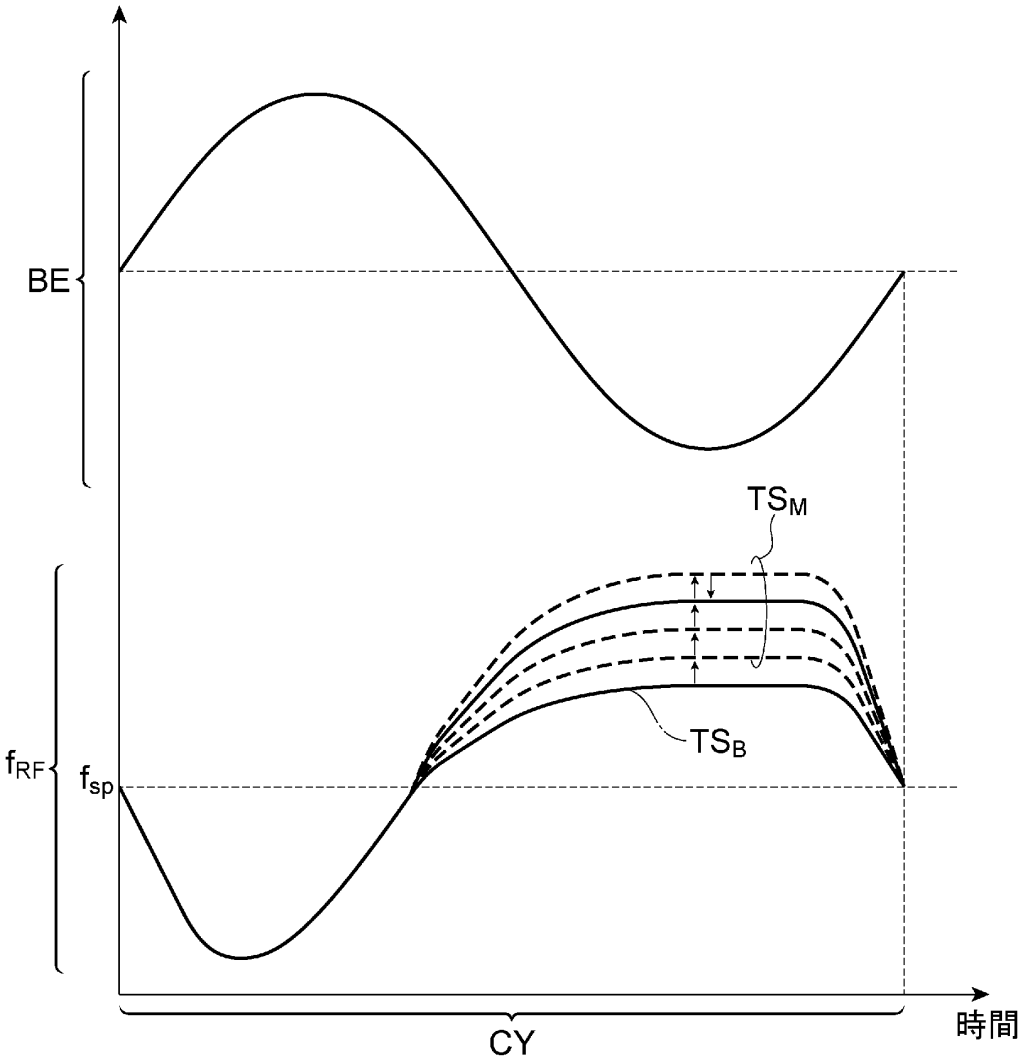
[図7]



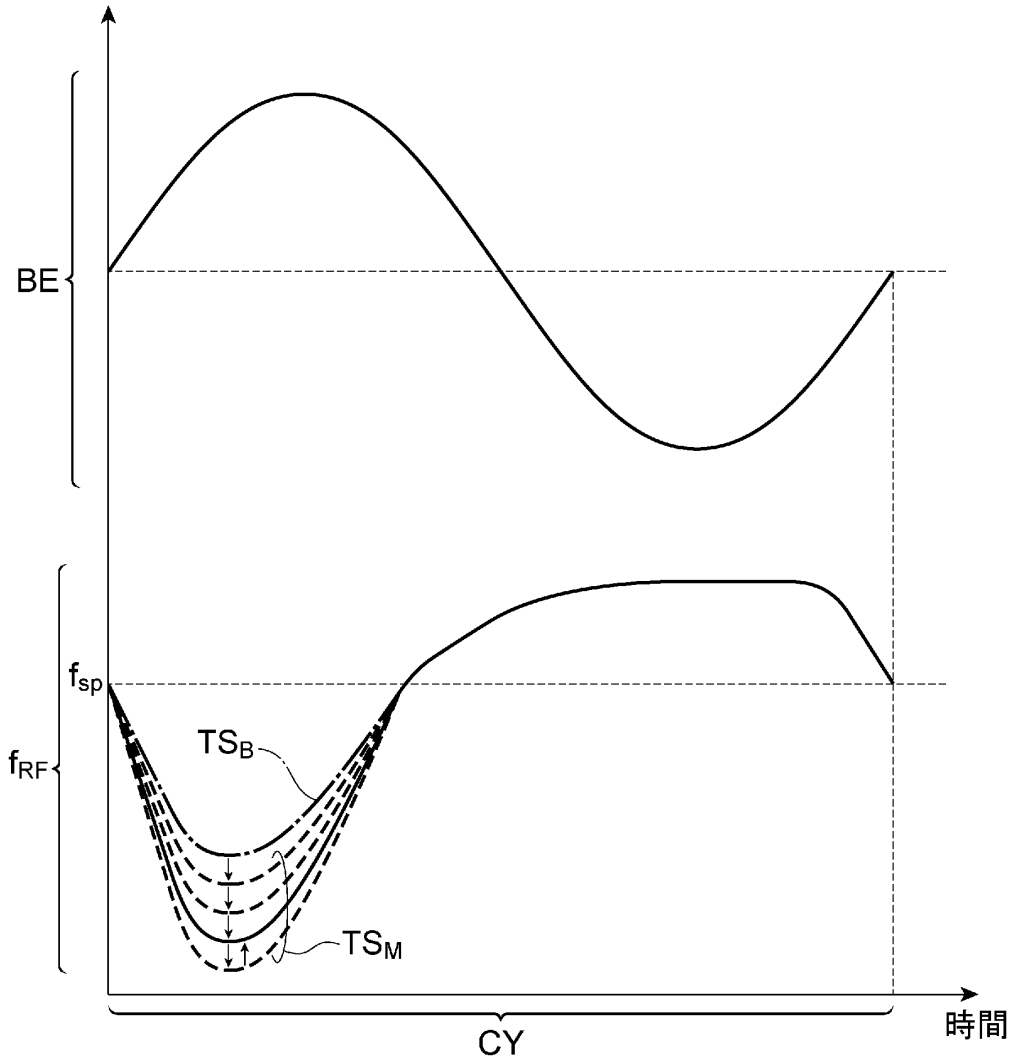
[図8]



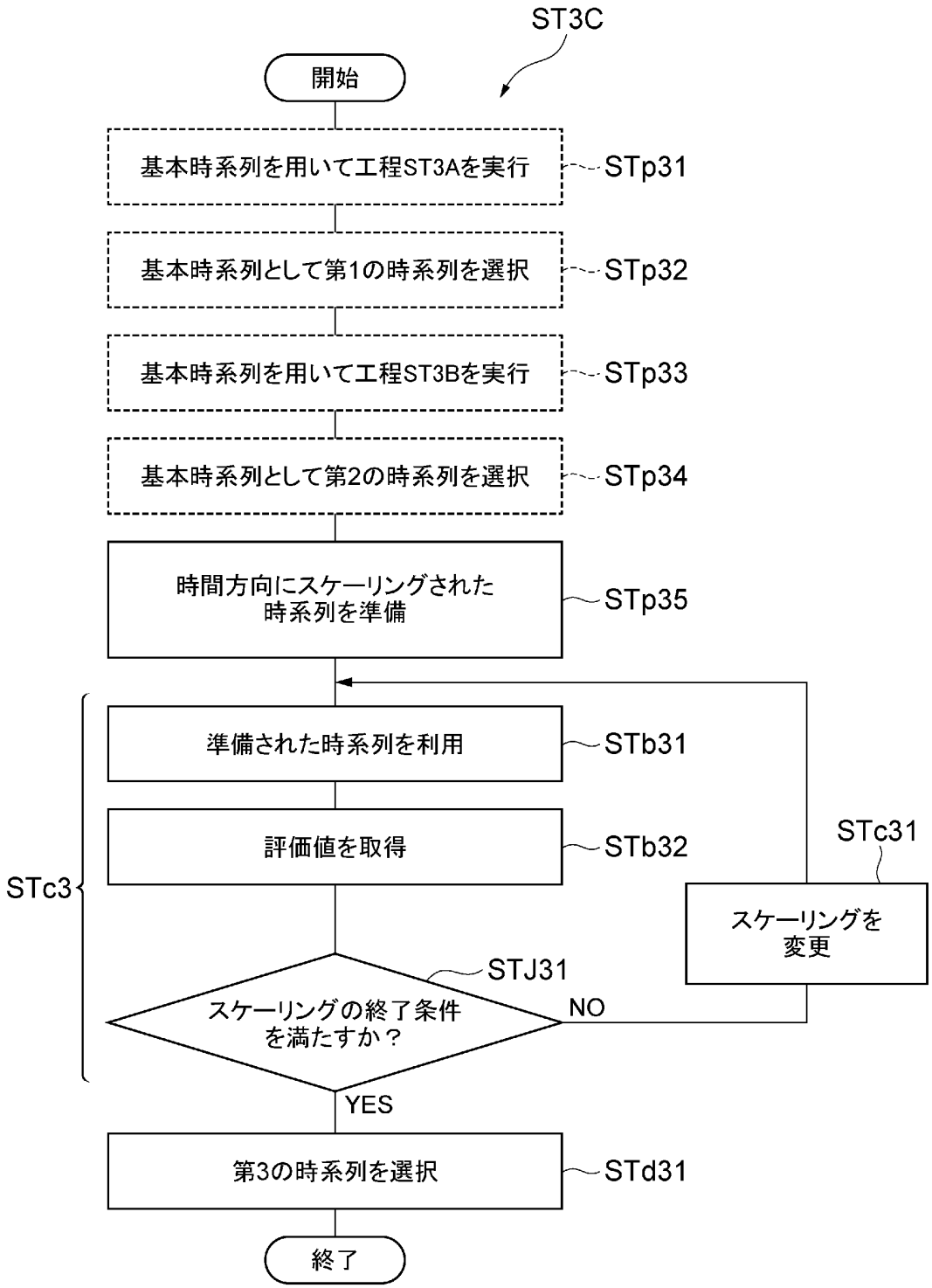
[図9]



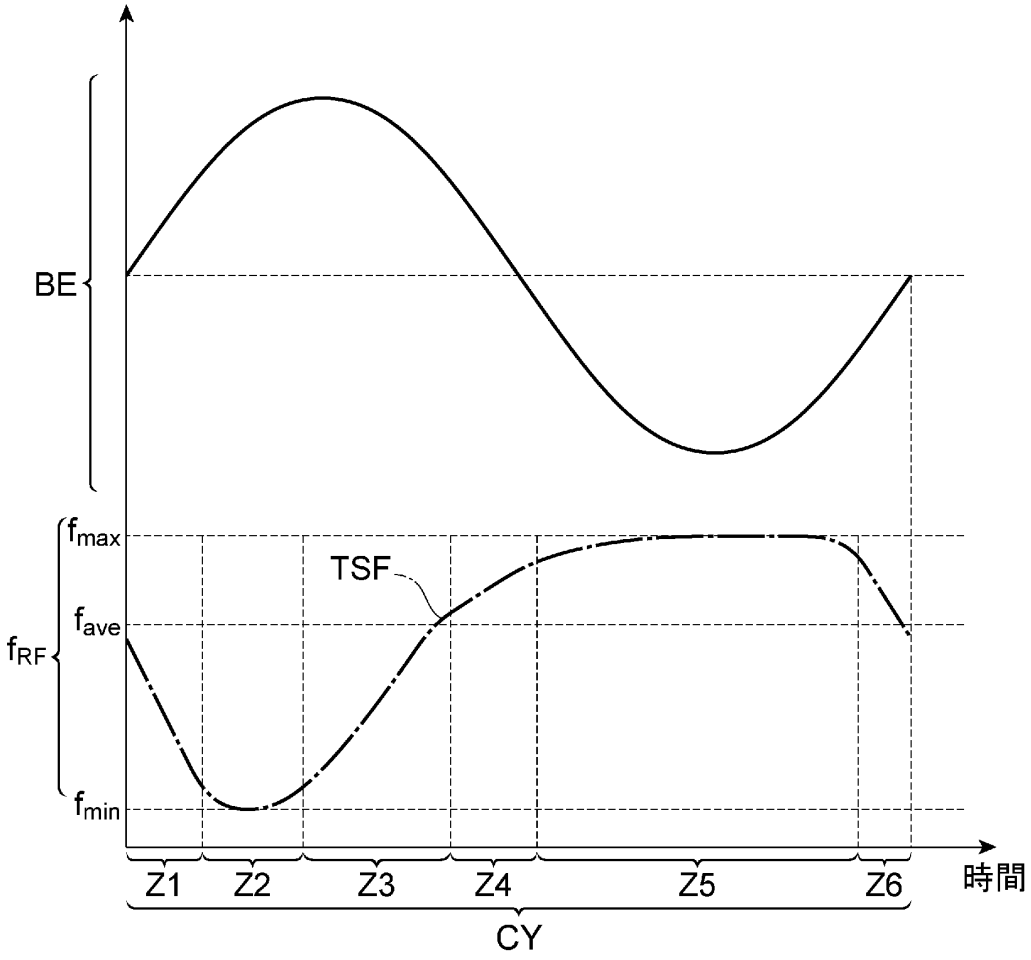
[図10]



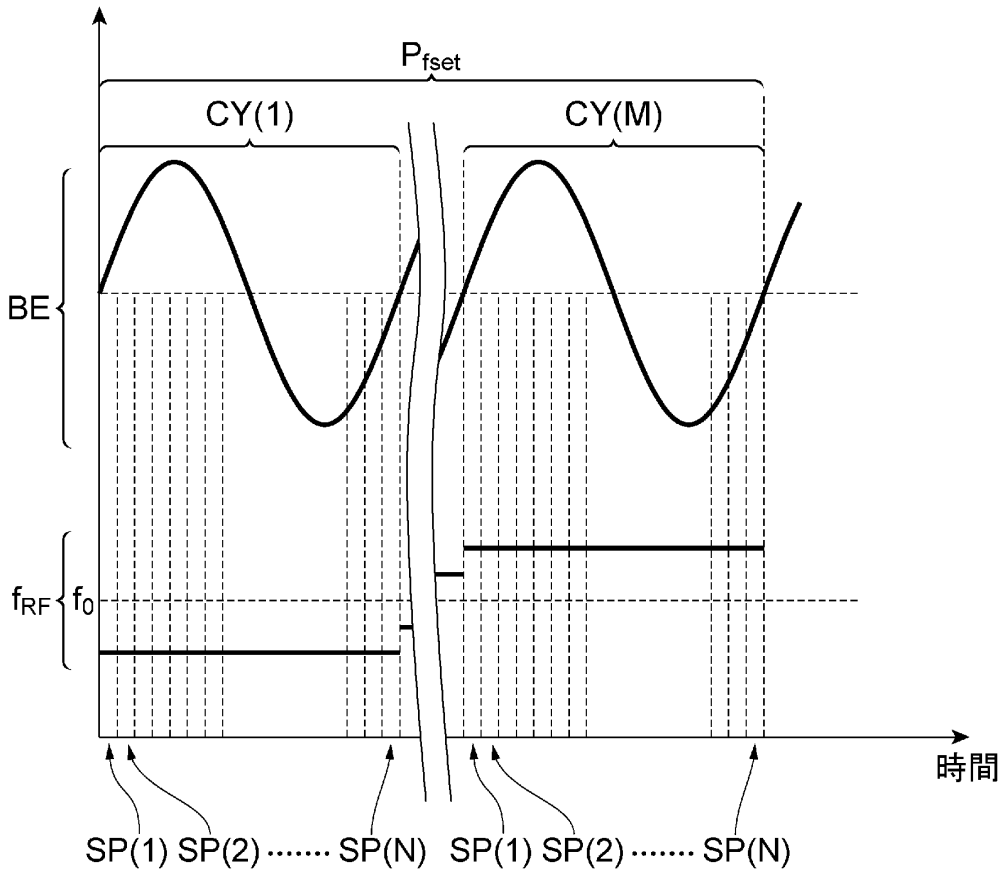
[図11]


ST3C
開始
基本時系列を用いて工程ST3Aを実行
STp31
基本時系列として第1の時系列を選択
STp32
基本時系列を用いて工程ST3Bを実行
STp33
基本時系列として第2の時系列を選択
STp34
時間方向にスケーリングされた
時系列を準備
STp35
準備された時系列を利用
STb31
評価値を取得
STb32
STc3
STc31
スケーリングを
変更
STJ31
スケーリングの終了条件
を満たすか？
NO
YES
第3の時系列を選択
STd31
終了

[図12]



[図13]



[図14]

